

放射性物質含む焼却灰

4団体計4100トンを徹底議論



焼却灰の処理について再質問する滝田敏幸県議

りの発生量は、約5トとなりません。

焼却灰の放射性セシウムについては、昨年の12月以降1キロ当たり800ベクレルを下回り、直近の2月22日の測定結果は3900ベクレルとなっておりま

す。

滝田議員 4市

1組合各々の焼却灰等について、現時点での一時保管量及び日々の排出量、また、放射性濃度はどうか。

資源循環推進課 長 2月20日現在の保管量は、松戸市231ト、柏市2612ト、流山市752ト、印西地区環境整備事業組合463トであり、4団体合計約4100トの焼却灰等が、清掃工場の施設内または敷地内や、最終処分場で一時保管されています。

4市1組合における一時保管を要する焼却灰の日々の排出量は、松戸市約3ト、流山市約4トとなっています。

滝田の主張・基本的考え方

- 自治体間の〈共助〉の精神 困った時はお互い様。助け合いの心。社会の絆を強化することが重要
- 放射能問題は感情ではなく、科学的知見に基づく理性的対応が重要

日々増加し 状況ひっ迫

滝田議員 現時点で考えられる各市における一時保管のリミットをどのように

なお、柏市では、南部クリンセンタ―が1月5日から停止中のため、一時保管を要する焼却灰等は発生していません。

直近の放射性濃度は、焼却灰等1キロ当たり、松戸市2万800ベクレル、柏市5万4000ベクレルであり、流山市では8000ベクレルを下回る3300ベクレルとなっています。

新年度予算主な事業

東日本大震災への対応

- 「がんばろう!千葉」市町村復興基金交付金 (20億円)
- 放射能監視・調査体制整備強化 (4200万円)
- 県新エネルギーなど活用推進 (6000万円)
- 河川海岸津波対策 (11億円)
- 水門操作遠隔化システム整備 (3億円)

安全・安心

- 移動交番車配備 (1億5200万円)
- 振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター (9800万円)
- 橋梁耐震化 (10億円)
- 危機管理防災センター(仮称)整備 (2億5000万円)

医療・福祉

- 医師確保関係 (5億4700万円)
- 救急救命センター等整備 (6億5100万円)
- 東金九十九里地域医療センター助成 (2億8800万円)
- 周産期関連 (7億3000万円)

子育て支援

- 子ども医療費助成 (59億2900万円)
- 保育所緊急整備 (34億3900万円)
- 市立学校経常費補助 (17億5800万円)
- 児童擁護施設整備促進 (4億3300万円)

観光振興・魅力発信

- 千葉の魅力発信事業 (1億5100万円)
- 観光プロモーション (1億6000万円)
- ちばアクアラインマラソン開催 (9300万円)

雇用拡大・産業振興

- 新卒未就職者人材育成 (7億5600万円)
- 中小企業振興資金融資枠 (5700億円)
- 県中小企業連携強化推進 (1500万円)
- 青年就農者確保・育成 (2億8800万円)
- 拠点漁港機能強化 (3億3800万円)



公明党県議団とともに、印旛日医大北総病院を視察する滝田敏幸県議。救急救命医療整備の要望を同病院関係者から受ける(左)

地元議会・住民に ていねいな説明を

滝田議員 一時保管に対する不安を払しょくするため、地元住民や市議会に対する説明会のスケジュールはどうか。

資源循環推進課長 県から提案した、地元住民及び市議会への説明会の開催について、2月28日に印西市から、2月29日に我孫子市から、市議会への説明につい

捉えているか。

資源循環推進課長 現時

点における一時保管のリミットについては、各市とも、ひっ迫した状態が続いていることから、ゴミ焼却施設の運転方法の工夫や、焼却灰を入れた容器の保管方法の工夫などを行い、一時保管を継続できるよう、懸命の

努力がされております。

滝田議員 候補地におけ

る保管対象、保管量の想定はどうか。また、どのような飛散・流出防止対策を講じようとしているのか。

資源循環推進課長 保管対象は、原則として、利用開始日以降発生する8000ベクレルを超える焼却灰

を保管することとしています。

保管量は、一時保管を継続している松戸市、柏市及び流山市の発生量の約1年分を想定しています。

飛散、流出防止対策としては、焼却灰を耐久性の高いフレキシブルコンテナやドラム缶に封入した上で、堅固なテントを設置し、その中で保管することとしています。

再質問

滝田議員

スピード感を持った対応とともに、受け入れ自治体の地元住民の感情にも十分配慮し、ていねいな説明を尽くしたい。

副知事 この件につきましては、焼却灰が日々増加しているという緩慢に進行する、危機が迫っているという状況と理解しています。スピード感をもって対応等を行う必要がありま

すが、それとともに、受け入れ自治体の地元県民の感情にも十分配慮し、ていねいな説明をしていきたいと考えています。

●千葉県と印西市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173